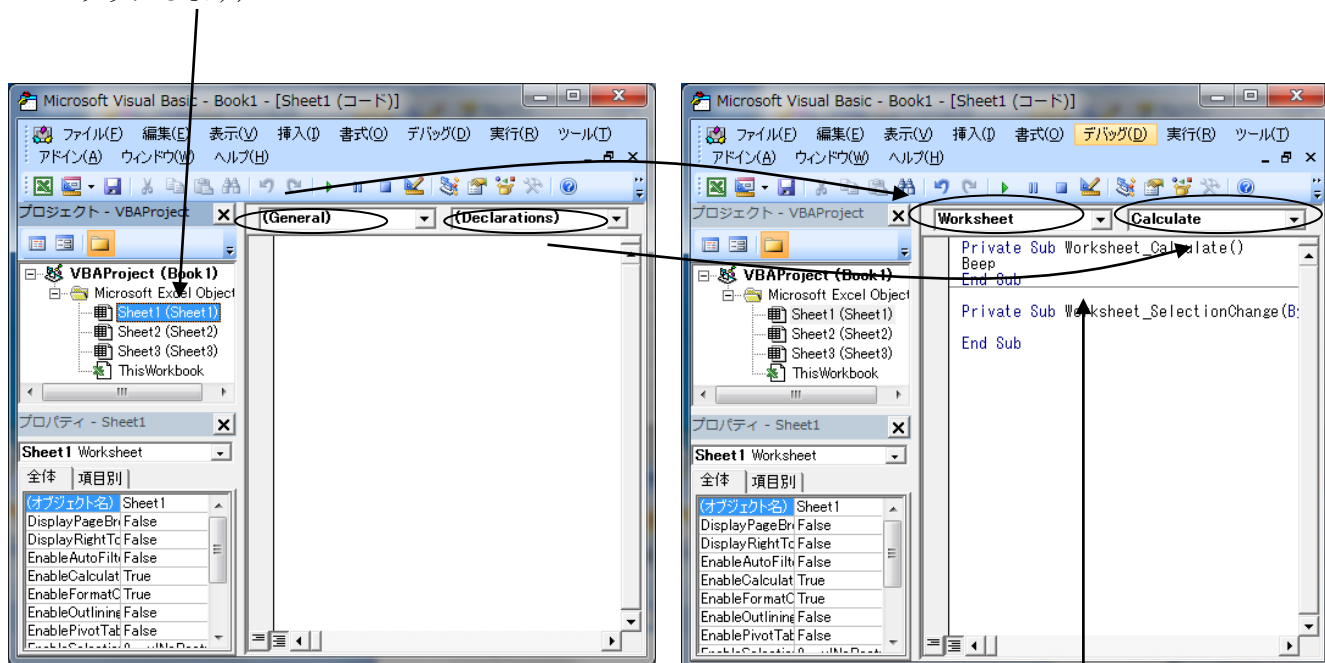


Microsoft® Excel2010、2013、2016、2019 で「データ入力後に Beep 音を出す」方法

1. ファイルタブの「オプション」をクリックし開きます。
2. 「Excel のオプション」が開いたら「リボンのユーザー設定」の[開発]にチェックを入れ「OK」をクリックします。
3. データを入力したい Sheet(検査記録表、等)を開きます。
4. メニューに追加された「開発」を開き、「VisualBasic」をクリックします。
VisualBasic の画面に変わります。
5. VBAProject の MicrosoftExcelObject の中から、3.で開いた Sheet(検査記録表、等)を選びクリックします。(データを入力したい Sheet が、Book1.xls の Sheet1 であった場合、ここをダブルクリックします)



6. 新たに開いたウインドウの、オブジェクト(現在「General」になっているところ)を、「Worksheet」に変更します。
7. プロシージャ(現在「Declarations」になっているところ)を「Calculate」に変更します。
8. Private Sub Worksheet_Calculate()と End sub の間に『Beep』と入力します。

```
Private Sub Worksheet_Calculate()  
Beep  
End Sub  
  
Private Sub Worksheet_SelectionChange(ByVal Target As Excel.Range)  
End Sub
```

9. VisualBasic を終了します。(データを入力したい Sheet に戻ります)

10. データを入力しない欄外のセルを選択します。メニューの「数式」から **fx** (関数の挿入) ボタンを押して [関数名(N)] の中から "COUNT" を選択し、 [OK] を押します。
11. データを入力するセル(範囲)を選択し、 [OK] を押します。
12. 10. で選択したセルの範囲に数値を入力すると、 Beep 音が鳴ります。

重要

- 同じ様式を複数の検査に使用する場合は、まず本設定を行った Sheet を原紙として保存して下さい。
そして検査の際に、その Sheet を呼出し、検査終了時に、各管理名称をつけて保存する事をお勧めします。異なる Sheet を使う場合は、本設定をその都度行う必要があります。
-